



謹賀新年 皆様本年もよろしくお願いいたします。
 昨年は仕事の忙しさの関係で、この「瓦版」の12月号の編集を怠ってしまいました・過去にも一度あったのですが、これで二度になっちゃいました・ごめんなさい
 2018年は「戌年」です・今年一年が皆様にとりまして、また幸多き歳になることをご祈念申し上げます。



瓦版 新年号



発行 (株)カネマタ工務店
 TEL 025-792-2560
 FAX 025-792-7102
<http://kanematak.com>



大根おろしたっぴい・「雪見鍋」

【材 料】	白菜	1/4株	エノキダケ	2袋(200g)
	大根おろし	200g	シメジ	2パック(200g)
	長いも	200g	A-水	700ml
	大根	200g	A-酒	100ml
	たら(切り身)	300g	A-白みそ	40g
	ホタテ(貝柱)	8個	A-ほんだし	10g
	長ねぎ	2本	A-瀬戸の本塩	8g



- 【作り方】 ※分量:4人分 エネルギー=329kcal 塩分=4g 野菜摂取量=325g/1人分
- 白菜はザク切りにし長いもはすりおろす。大根は一口大に切って下茹でしエノキダケはほぐし、シメジは小房に分けネギは斜め切りにしたらは一口大に切っておく。
 - ポウルに大根おろし、長いもを入れて空気を含ませるようによく混ぜる。
 - 鍋に白菜を敷き詰め、大根・エノキダケ・シメジ・ネギ・たら・ホタテをいれる。Aの調味料を加え大根おろし、長いもを加えて火にかけ火が通るまで煮て出来上がりです。



「Y・O様邸」・「未完成」

昨年の暮れまでに「引っ越し」の予定で始めた「Y・O様邸」・残念ながら予定通りに工事が進まず年が明けてしまいました・原因は多々あると思いますが遅れてしまったのは事実として心から「反省」しています。
 ガレージへの乗入と内部の舗装・ガレージの天井張は終わり、自家用車の駐車は問題はありません。内部も仕上げはほぼ終わりましたが、照明や住設機器類の取付が途中で、建具の取付も途中で。正直、後2週間あれば引っ越しも出来たと思いますが、お施主様には大変なご迷惑をさせていただきました・
 今回は普通の「ラーメン構造高床式基礎」とはちょっと違い、ガレージ部分の一角に玄関とトイレ・ドライエリア、階段室を設えましたので「断熱施工」や「階段施工」に思わぬ時間が掛かってしまいました。先月の後半頃お詫びしてもう少し時間をいただけることにはなっていますが、残念でなりません・
 今月の後半には完成させます・ひょっとすると「完成見学会」も予定できるかもしれないので、そうならましたら「号外」でまたお伝えしようと思っています。



なぜ「おせち料理」なんだ・・・？



♪もう幾つ寝るとお正月・お正月に食べるお祝いの料理を指して「おせち料理」といいますが、なんでそう呼ばれるのでしょうか・・・そもそその起源は古く「弥生時代」といわれています。当時の人々は作物の収穫を季節ごとに感謝し、自然の恵みや収穫したものを神様に供え、生活の節目を付けていたようです。

この時に供えた物を「節供」と呼び、これを料理して大漁や豊作を願い、自然の恵みに感謝して食べた料理を「節供料理」といい、これが起源といわれています。

時代の流れの中で中国から「節句」の行事が伝わると、宮中では元旦や五節句の宮中行事の際に「節会(せちえ)」と言われる宴が催されるようになります。節会で神様に供えたり振舞われた料理を「御節供(おせちく)」といい、その後略されて「おせち」と言われるようになりました。

江戸時代になると、庶民がこの宮中行事を生活の中に取り入れるようになるとおせち料理は全国的に広まり、中でも一年の節目で一番大切なお正月に食べる料理を「おせち料理」と呼ぶようになったようです。ちなみに、おせち料理を漢字で書くと「御節料理」と書きまして、なるほど・・・と思います・

おせち料理は「めでたさを重ねる」という意味で重箱に詰められ、基本は重箱を四段重ねるのですが、各段ごとに詰める料理が異なり、「この段にはこれを詰める」というルールと、素材や料理に込められた意味があります。また、地方色やしきたりによっては詰め方も色々である事は言うまでもありませんけど・・・



今年の干支「戌戌(つちのえいぬ)」

2018年・平成30年の干支は「戌戌(つちのえいぬ)」・正確にはこのように言われます。普通・十二支は子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥であらわされますよね・この他に「十干(じっかん)」という数詞があり甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸となります。本来、干支は「十干十二支(じっかんじゅうにし)」で表されるもので、十干の「干」と十二支の「支」を合わせ「干支」・普段私達が言っている「えと」になりますね・



また、この「十干十二支」は「還暦」とも深い関りがありまして、2018年は「戌戌」ですがこの前の同じ十干十二支はいったい何時だったのか・・・それは60年前の1958年になります。これは「十干」の「10」と「十二支」の「12」の最小公倍数が「60」である事から60年を一周として、60種の十干十二支がある事になるからなのです。だから60歳を迎える年を「還暦」と呼ぶのは・暦(こよみ)が還(かえ)る=還暦(かんれき)・という事で「還暦」を祝うようになったようです。

還暦と言えば「赤いちゃんちゃんこ」を贈りますが、それは「もう一度生まれ変わって出直す」という意味があり、赤色は「赤子」に還る・・・の意味があるとされています。

余談ですが、十二支の順番にも面白い説話があり、申(さる)と戌(いぬ)に挟まれた酉(とり)の意味について・猿と犬は「犬猿の仲」と例えられるように、非常に仲が悪かったと言われています。だから、この間に入って仲裁をしたのが「酉」であり、昔話の「桃太郎」でも三匹の家来が・猿・鳥(キジ)・犬で語られているんですかね？・また、これは「鬼門」の方角の鬼に対して、「裏鬼門」に位置する十二支の猿・鳥・犬を引き連れたと言う解釈もあるようです。



1月 睦月 2018年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	火
	先勝 地鎮祭 上棟吉日	友引 地鎮祭 上棟吉日	先負 上棟吉日	仏滅	大安 地鎮祭 上棟吉日	赤口	先勝 地鎮祭 上棟吉日	友引 地鎮祭 上棟吉日	先負 地鎮祭 上棟吉日	仏滅	大安 地鎮祭 上棟吉日	赤口	先勝 上棟吉日	友引 三隣亡	先負 地鎮祭 上棟吉日	仏滅	赤口	先勝 土用	友引	先負 大寒	仏滅	大安 地鎮祭 上棟吉日	赤口	先勝 地鎮祭 上棟吉日	友引 上棟吉日	先負 三隣亡	仏滅	大安 地鎮祭 上棟吉日	赤口	先勝 地鎮祭 上棟吉日	友引 三隣亡